

令和7（2025）年度 日本体育大学大学院 卒業式（研究科長代表 訓辞）

本日、日本体育大学大学院にて、修士、博士の学位を取得された皆様、誠におめでとうございます。体育科学研究科、体育学研究科、教育学研究科、保健医療学研究科を代表しまして、心からお祝い申し上げます。

本日、このときを迎えるにあたり、これまで様々な困難を乗り越えて、高い学識と研究能力を身につけてこられた努力に敬意を表します。それと同時に、これまで学位取得の皆様を支えてこられたご家族、関係者の皆様、ご友人の皆様に心から敬意と祝意を表させていただきます。本日修了された方の中には、6名の外国からの留学生の方がおられます。異国の地で研鑽を積まれた姿に、敬意を評します。

さて、私たちの記憶には2020年から数年間にわたって世界中が苦しめられた新型コロナウイルスのパンデミックの記憶があります。このような出来事に見舞われた時、人間は祈り、自分たちの運命について想いを巡らせます。人間にとって、祈りを捧げる対象たる神や仏を信じるか信じないか、運命を信じるか信じないか、それは一人一人違います。信じる人もいれば信じない人もいます。信じるとしても異なる神を信じる場合もあります。しかし、本日修了される皆さんに一つ、信じていただきたいことがあります。それは学問の力です。人間の歴史は、学問の力によって、自由を勝ち取り、幸福な世の中を作ってきた歴史です。確かに、これまでの学問の歴史の中で、研究成果が人類の幸福に役立ってきた一方で、人類の不幸に結びついてしまうこともありました。それでも、本来の学問とは、そして皆さんが大学院で格闘した学問は、人類と地球に安寧と恩恵をもたらすものであり、そのような力を持つものであることを信じてほしいのです。

現代の学問の系譜は古代ギリシャに遡りますが、さらにはヨーロッパの中世から近代初頭にかけて自分の存在を真理探究にかけた人々に連なります。例えば、コペルニクス、ケプラー、ガリレイなどです。いずれの人たちも、科学と思索の力で世界観を変え、人間の自由な精神を世の中にもたらしました。これらの人々は今日の学問分野で言えば天文学・物理学を専門に探求しました。みなさんの体育学、教育学、保健医療学とは異なる専門分野です。しかし、分野は違えども、真理に憧れ、可能な限り真理に近づこうとした精神は同じです。みなさんが修めた学問も、こうした、人間が世界の見方を変え、自由な精神を勝ち取ってきた歴史に連なっています。そのような本来の学問の力を私たちが託した証が、皆さんの手に

している学位記に他なりません。そして、体育学、教育学、保健医療学は、自由な精神の確保にとどまらず、もともと人々に幸福と安寧をもたらす学問でもあります。みずからが心血を注いで成し遂げた研究成果の活用が、現実の中で誤った方向にそれていないか、社会の現実をよりよく方向づけるすべはないのか、それらを時折、自問自答しながら、広く社会の中で、また教育研究の現場で活躍してくださることを願っています。

皆さんの学問の成果が、悩める選手、指導者、教師、子供、傷ついた人々、医療人に希望をもたらすことがあるでしょう。それが私たち日本体育大学の作り出す学問の力なのです。

今、ここに学位を授与された皆さんを、ご家族、関係者の皆様が私たちの大学院に送ってくださいました。そしていま、私たち大学院は、ご家族、関係者の皆様に修了生の学位をお届けするとともに、修了生の皆さんを今度は世界に、人類全体へと送りだします。地域や国内で仕事をし、専門的な活動に従事していても、本学の学位を持った人は、身につけた研究態度と技法を駆使して世界人類のために働き、奉仕していることになるのです。

このような願いと期待を込めて、私たちは皆さんに合格の判定をしました。

教職員一同、皆さんのこれからの活躍を願っています。

皆さんの人生に光りあらんことを祈っています。

令和8年3月15日

日本体育大学大学院 研究科長代表 関根正美